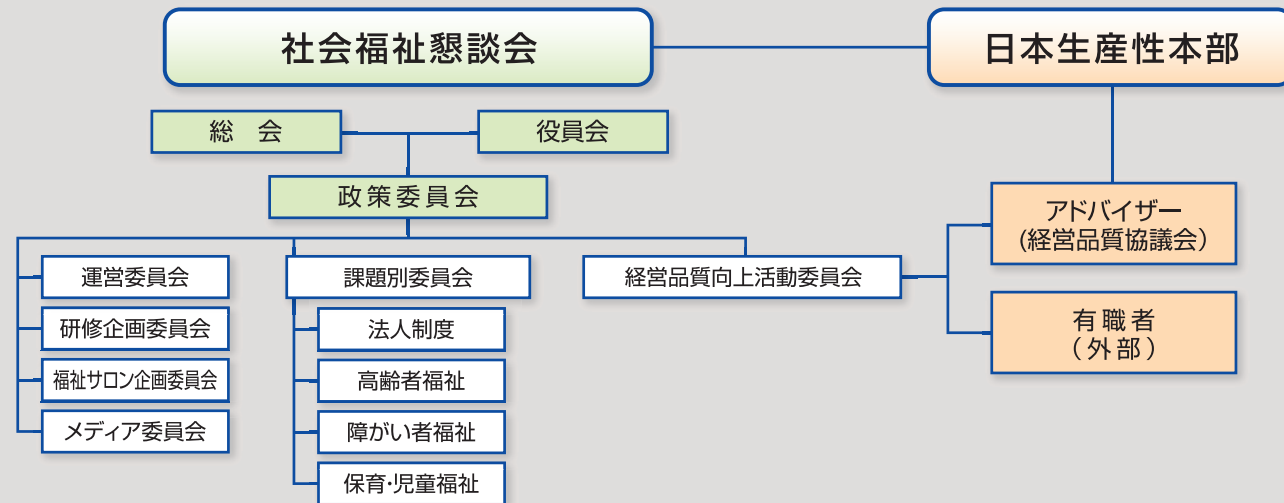


社会福祉懇談会 組織図



活動実績

- 介護問題特別委員会
- 駅型保育研究会 (平成6年～8年)
- 第一回社会福祉懇談会洋上セミナー (平成6年12月9日～17日)
- 児童問題研究会 (平成7年10月2日～平成8年)
- 保育サービス評価システム研究会 (平成9年～平成10年)
- 人事評価システム研究会 (平成8年4月～平成11年3月)
 - ～選ばれる保育所の人事システム～ (平成11年4月1日発刊)
 - ～選ばれる福祉サービスの人事システム～ (平成11年4月1日発刊)



社会福祉懇談会のご入会について

入会のお問い合わせ・お申し込みは下記事務局へご連絡ください。

年会費(1法人) **40,000円**

〒701-0113 岡山県倉敷市栗坂8番地(福)クムレ内

☎ **086-464-0071**

FAX.086-464-0072

E-MAIL.info@shafukukon.com

URL.http://www.shafukukon.com



社会福祉懇談会

入会のご案内

社会福祉懇談会は

当懇談会は、平成5年10月6日に新しい社会福祉の実現を目指して設立しました。

以来、積極的に関係省庁各課との意見交換を継続実施する等、より良い制度づくりを目指して政策提言を行うとともに、民間企業の経営ノウハウを学び、社会福祉法人の質を向上させるための取り組みを実施しています。

また、経営セミナーや福祉サロン等の開催を通じて、各分野の現状制度および課題の整理をしつつ、最新の情報や知識を会員へ提供し続けています。

地域や社会から期待され、応えていける社会福祉法人であるために、当懇談会は社会福祉法人の未来を模索し続けます。

社会福祉懇談会は **新しい社会福祉法人の経営の実現を目指します。**

ごあいさつ



社会福祉懇談会 会長
高岡 國士

社会福祉懇談会が設立された当初、社会福祉法人が福祉サービスの供給において中心的な役割を果たしていたため、他の供給主体に劣らぬレベルまで経営能力を強化し、効率的な法人経営を行うとともに、公益的かつ信頼性の高い民間法人としての使命を果たすことが重要になることから、旧日経連（2002年、日経連と経団連が統合し、日本経済団体連合会が発足）に加入し、民間企業に学ぶことを視野に入れた活動及び政策提言を行ってきました。

昨今では、少子高齢化社会において持続可能な社会保障制度の構築が求められる中、社会福祉法人を取り巻く経営環境は急速に変化し、より一層の厳しさを増している状況であります。社会保障と税の一体改革では規制緩和を推進し、福祉サービスへの新規業者の参入を進める方向にあり、多様な事業者との競合は激化していくという重要な局面に立たされています。加えて、生活困窮者支援をはじめとした新たな社会福祉ニーズへの対応など、社会福祉法人のさらなる公益性の発揮が求められています。このような社会的要請に応えるべく、平成23年度には、社会福祉法人における実践的な経営管理を目指すため、経営品質賞を提唱し普及に努めている「日本生産性本部・経営品質協議会」に加入し、再スタートを行いました。

本会の趣旨をご理解頂き、多くの社会福祉法人経営者が本会に参画され、ともに歩むことを心から期待いたします。



公益財団法人
日本生産性本部 理事長
松川 昌義

わが国の社会経済は急激な環境変化の下、ダイバーシティを基盤とした社会に変わることが求められ、これまでの延長線に無い新たな成長をする必要があります。特に、高齢、児童、障がいなど様々な社会福祉の領域では、10年で100万人以上の労働力不足が予想され、高齢者の雇用創出が見込まれており、一層の生産性向上が不可欠となります。

平成5年に設立された社会福祉懇談会は、いち早く、社会福祉法人が福祉サービスの中心的役割を果たすことを目的に、率先して経営能力の向上や社会要請への対応を行い、平成23年度より当本部の賛助会員にご加入され、生産性向上活動を実践なさっております。

今後は、社会保障と税の一体改革に見られるように、福祉サービスの領域も経営環境が激変すると予想されます。社会福祉懇談会の取組みにより、社会福祉全体が、さらなる生産性向上活動を進化させ、日本経済の活性化に一層寄与することをご期待申し上げます。



経営品質協議会代表/
第一生命保険株式会社
特別顧問
森田 富治郎

急速な少子高齢化により、福祉業界は雇用拡大が見込まれるとともに、一層の生産性向上、経営の質の向上が求められています。このような環境下において社会福祉法人は、「事業運営」から、社会を支える「事業経営」への転換が求められています。この課題を克服する上で、経営品質の理念は、社会福祉法人が求められる経営を実現する必須の考え方といえましょう。

社会福祉懇談会が、平成23年度から、当協議会の会員にご入会を頂き、いち早く社会福祉法人自らが経営の質を高めるための活動や、日本経営品質賞に向けた取り組みを実施されていることに敬意を表したいと存じます。

これからの活動が、社会福祉法人の経営基盤の強化、さらには日本の福祉基盤の革新につながることを期待しております。

主な活動

常に積極的な政策提言を行います

～厚生労働省各課との意見交換会等の開催～

当懇談会の目的である「新しい社会福祉に貢献する」ために、厚生労働省社会援護局基盤福祉課を始めとする各課との意見交換を実施する等、政策提言に関する取り組みを行っています。

また、福祉セミナーでは、法人制度・高齢者・障害者・児童保育分野ごとにゲストをお招きし、相互に研鑽すべく企画・開催を行っています。



広い視野で社会福祉事業の未来を展望します

～経営品質向上への取り組み～

社会福祉法人経営のさらなる質の向上を図るため、公益財団法人日本生産性本部・経営品質協議会へ加入し、日本経営品質賞認定制度の理解と導入に向けた取り組みを実施しています。

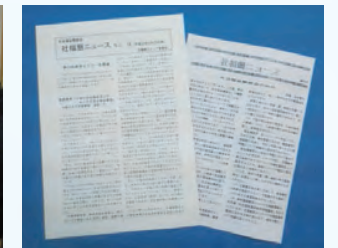


最新の情報や知識を会員へ提供します

～経営セミナー・福祉サロンの開催 社福懇ニュースの発行など～

社会福祉を取り巻く環境の変化に対応できる経営力の強化や、法人制度、高齢者、障害者、児童保育分野ごとの現状制度と今後の課題を整理していくことに焦点をあて、「経営セミナー」を開催しています。福祉セミナーでは、法人制度・高齢者・障害者・児童保育分野ごとにゲストをお招きし、相互に研鑽すべく企画・開催しています。

また、「社福懇ニュース」の定期的な発行やHP等で、必要な情報の提供を適宜行っています。



次世代の社会福祉法人経営者の人材を育成します

社会福祉法人は、自立・自主的な経営感覚と力量をもった経営者と幹部職員を必要としています。本会では、社会福祉法人が求める人材の育成に積極的に取り組みます。